

令和7年度 静岡県公立高等学校入学者選抜

学 力 検 査 結 果 等 の 報 告 書

I	学力検査結果等の概況	・・・・・・・・・・	1
II	各教科及び作文の概況		
	国	語	・・・・・・・・・・ 5
	数	学	・・・・・・・・・・ 6
	英	語	・・・・・・・・・・ 7
	社	会	・・・・・・・・・・ 8
	理	科	・・・・・・・・・・ 9
	作	文	・・・・・・・・・・ 10

令和7年6月

静 岡 県 教 育 委 員 会

I 学力検査結果等の概況

1 学力検査等の実施

一般選抜は、令和7年3月5日（水）及び3月6日（木）に、全日制の課程では90校（分校等も1校と数える。）、定時制の課程では19校（学年制15校、単位制4校）で実施した。学力検査は3月5日（水）に実施し、全日制の課程については、国語・数学・英語・社会・理科の5教科について行い、学年制による定時制の課程については、国語・数学・英語・社会・理科の5教科及び作文の中から、学校が必要な教科等を選択して行った。単位制による定時制の課程では、国語・数学・英語・社会・理科の5教科又は作文により実施した。

なお、一般選抜と同日に実施した特別選抜のうち、海外帰国生徒選抜は15校、長期欠席生徒選抜は2校、連携型選抜は3校、県外生徒特色選抜は2校において、一般選抜と同様に5教科の学力検査を実施した。外国人生徒選抜を実施した9校においては、日本語基礎力検査を実施した。

検査当日、病気その他やむを得ない理由によって検査を受けられなかった者に対する追検査は、3月11日（火）に実施した。さらに、再募集を3月21日（金）に実施し、全日制の課程並びに学年制及び単位制による定時制の課程において、作文又は小論文を学校が選択して行った。

この報告書においては、3月5日（水）に実施した学力検査及び作文について報告する。

2 検査教科と検査時間

表1

教科名		国語	数学	英語	社会	理科
実施時刻	開始	9:05	10:10	11:15	12:55	14:00
	終了	9:55	11:00	12:05	13:45	14:50
検査時間		50分	50分	50分	50分	50分

※ 定時制の課程において作文を実施した学校では、国語と同一の時間に実施した。

3 学力検査及び作文問題の出題方針

学力検査問題は、次の方針に基づいて出題した。

5教科の検査問題は、中学校までの学習内容を踏まえた、基礎的・基本的なものとし、各教科の目標に即して、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度を広く検査できるように出題した。

また、作文問題については、受検者の身近な問題を題材として5つの作文題を示し、各実施校がこの中から2～3題を選んで出題し、受検者はその中から1題を選んだ。

4 学力検査及び作文受検者数（追検査受検者を含む。）

表 2

	令和 7 年度	令和 6 年度
全日制の課程	18,104 人	18,605 人
学年制による定時制の課程	284 人	315 人
単位制による定時制の課程	509 人	529 人
合 計	18,897 人	19,449 人

5 学力検査結果の教科別平均点、標準偏差及び得点分布

(1) 各教科の検査結果の平均点（50 点満点）及び標準偏差

表 3

	令和 7 年度		令和 6 年度	
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差
国 語	35.05	7.34	33.81	7.26
数 学	24.36	7.45	24.16	8.88
英 語	31.71	11.51	30.26	10.96
社 会	27.94	9.22	27.19	9.91
理 科	27.60	9.58	25.64	10.88
実施校数	90 校		90 校	

※ 分校等を 1 校と数える。全日制の課程のみ。

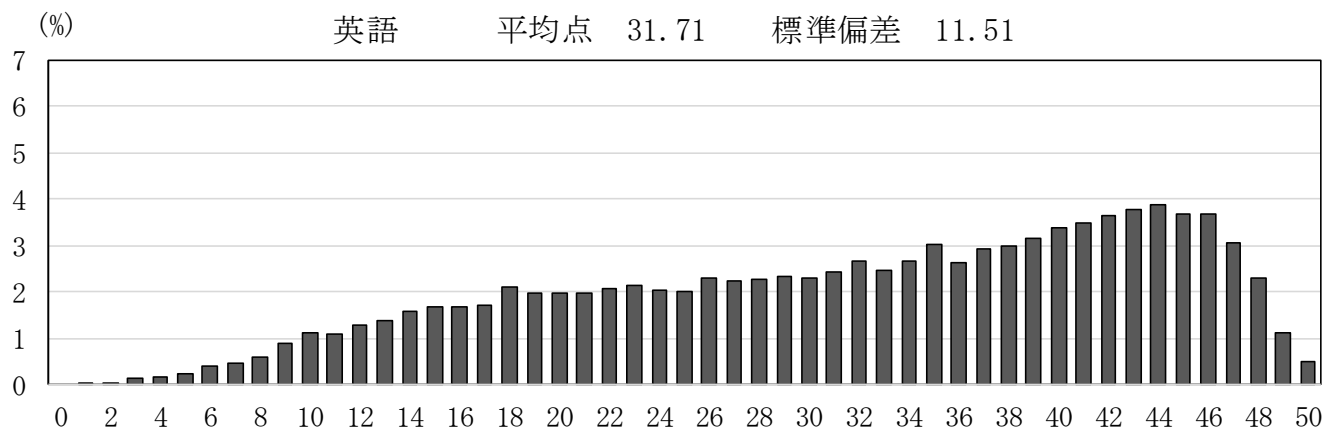
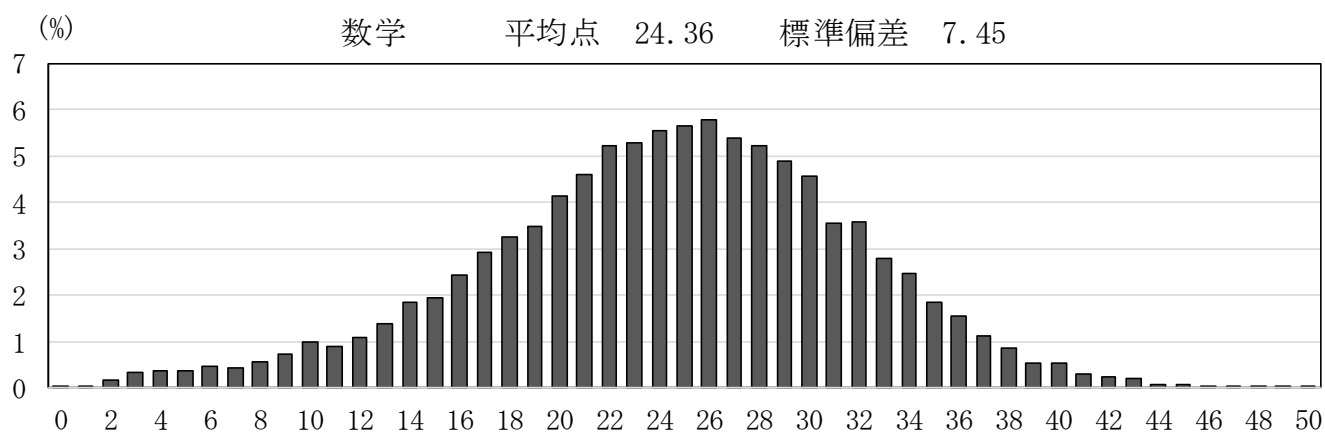
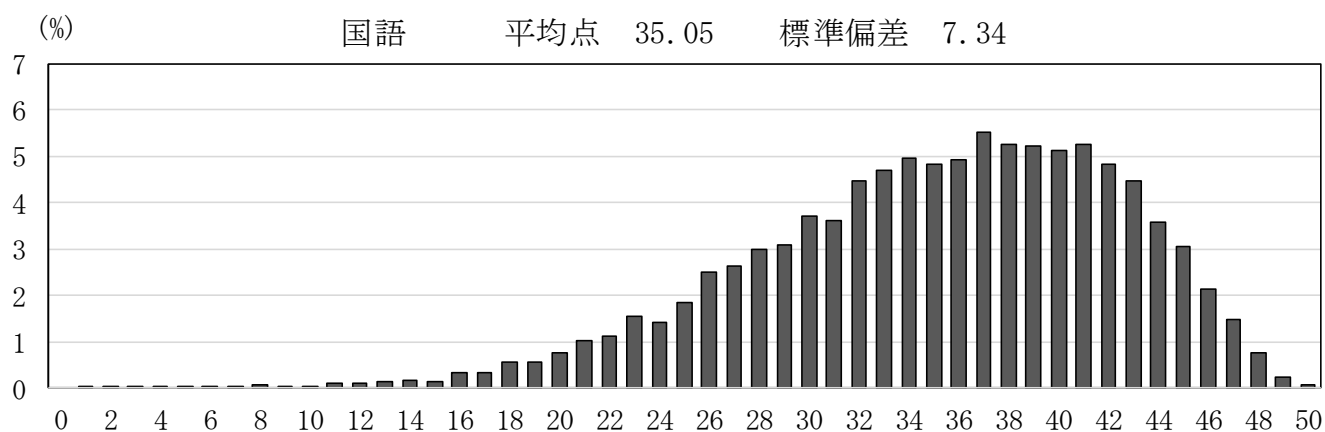
(2) 各教科の得点分布

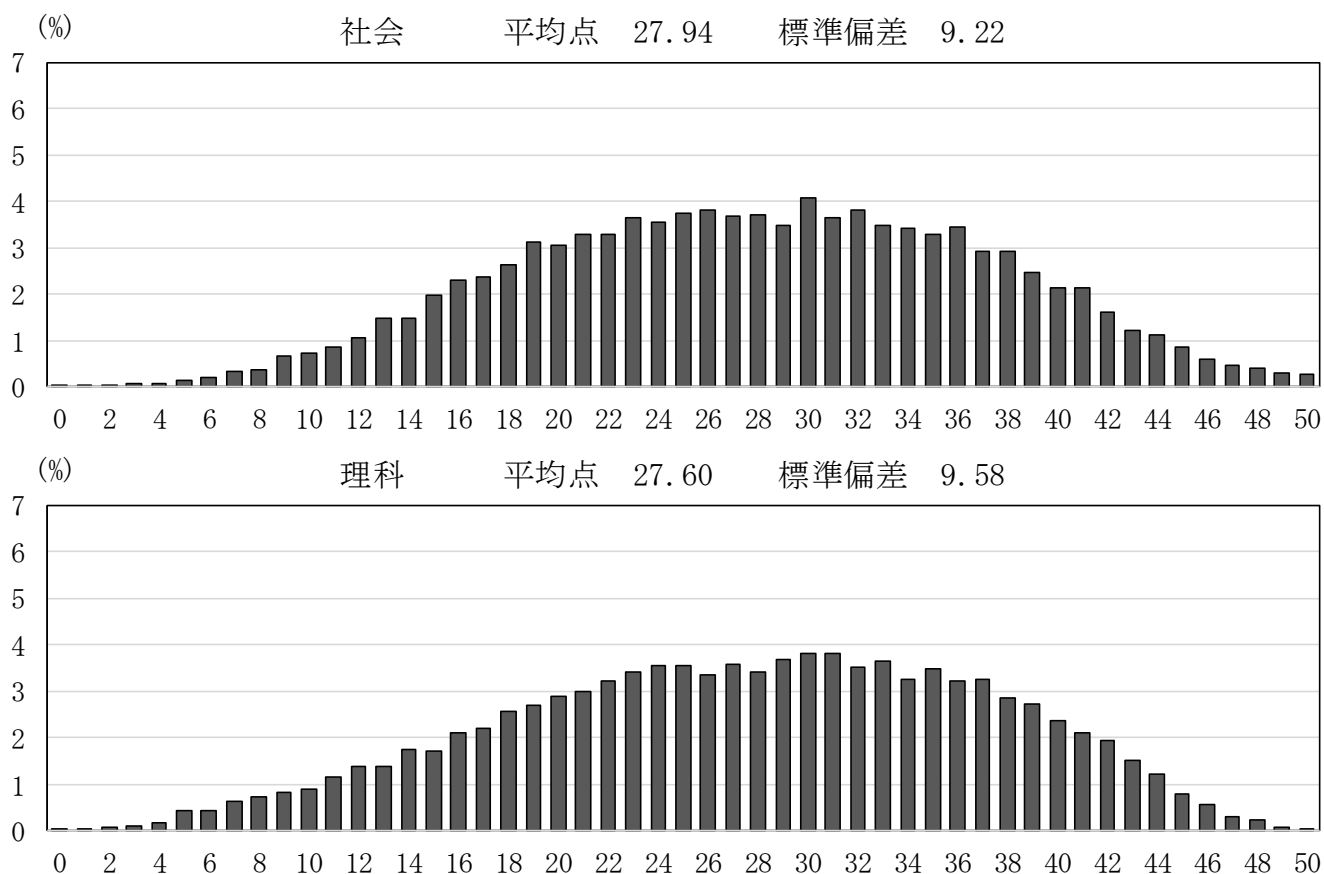
(%) 表 4

得 点	国 語		数 学		英 語		社 会		理 科	
0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1～5	0.1	0.1	1.3	1.2	0.6	0.3	0.3	0.6	0.9	1.9
6～10	0.3	0.3	3.2	4.5	3.5	2.8	2.3	4.3	3.5	7.5
11～15	0.7	0.8	7.2	10.5	7.0	8.1	6.9	9.8	7.4	12.0
16～20	2.5	3.3	16.2	19.1	9.5	11.4	13.5	12.9	12.5	13.6
21～25	7.0	9.0	26.3	22.4	10.3	12.8	17.5	15.1	16.7	13.7
26～30	15.0	17.9	25.9	18.6	11.5	13.6	18.8	16.7	17.9	14.4
31～35	22.5	23.7	14.3	12.6	13.3	13.4	17.7	16.8	17.7	15.0
36～40	26.0	25.7	4.7	6.8	15.1	15.2	14.0	15.0	14.4	13.0
41～45	21.2	16.6	0.9	3.2	18.5	15.4	7.0	7.7	7.7	7.3
46～49	4.6	2.6	0.1	0.8	10.2	6.7	1.8	1.2	1.2	1.5
50	0.1	0.0	0.0	0.2	0.5	0.3	0.3	0.0	0.0	0.1

※ 右列は令和 6 年度。全日制の課程のみ。

(3) 各教科の得点分布グラフ





6 各教科の小問別正答状況

全受検者の中から約 1/50 を抽出し、各教科の小問別正答状況を調査した。その結果は、「Ⅱ 各教科及び作文の概況」において示す。

国 語

1 出題のねらい

一では話の展開や登場人物の心情を、表現の仕方に注意して読み取ることができるかをみる。
二では筆者の考えを文章の展開に即して的確に把握する力をみる。三では社会生活に必要な、言葉によって伝え合う力をみる。四では平易な古文を読んで、話の内容をとらえることができるかをみる。五では自分の考えを文章で適切に表現する力をみる。

2 解答の状況

設問番号		解 答 の 特 徴 と 誤 答 例	正答率
一	問一	㊤ よくできている。	91.2
		㊦ 非常によくできている。	94.4
		㊧ 非常によくできている。	98.7
		㊨ 非常によくできている。	99.2
	問二	誤答では、ウが多い。	58.6
	問三	よくできている。	72.7
	問四	よくできている。	79.7
二	問一	㊤ 非常によくできている。	95.8
		㊦ 非常によくできている。	95.5
	問二	誤答では、イが目立つ。	65.3
	問三	よくできている。	79.3
	問四	よくできている。	92.0
	問五	文章の展開に即して内容をとらえることができていない不十分な解答が多い。	56.9
	問六	よくできている。	83.3
三	問一	よくできている。	85.4
	問二	よくできている。	79.7
	問三	よくできている。	71.1
	問四	非常によくできている。	95.9
	問五	メモの内容を踏まえた適切な一文で表現することができていない不十分な解答が多い。	65.3
四	問一	よくできている。	92.6
	問二	誤答では、ウが目立つ。	66.0
	問三	「ある人」の行動を的確にとらえることができていない解答が多い。	45.0
	問四	勘吉の正々堂々とした言動を的確にとらえることができていない解答が多い。	30.9
五		読書について考えたことを、自分の言葉で述べようとする姿勢がみられる。自分の考えと理由は述べられているが、説得力のある文章となっていないものが多い。	54.0

数 学

1 出題のねらい

1と2では数と式、図形、関数及び確率に関する基礎的な力を、3では日常の事象を数学的にとらえる力を、4、5及び6では空間図形、データの分布及び関数についての理解の程度を、7では平面図形について論理的に考察する力を、それぞれみることにねらいを置いた。出題に当たっては、数学的活動を通して、事象を数学的にとらえ、表現し、考察処理する過程をみることができるようにした。

2 解答の状況

設問番号		解 答 の 特 徴 と 誤 答 例	正答率
1	(1)	ア 非常によくできている。	96.3
		イ よくできている。	89.7
		ウ よくできている。	89.4
		エ よくできている。	83.3
	(2)	よくできている。	83.9
	(3)	よくできている。	87.6
2	(1)	誤答では、辺BCの垂直二等分線と辺ACの垂直二等分線との交点をOとしているものが目立つ。	70.2
	(2)	よくできている。	80.3
	(3)	誤答では、 $\frac{1}{4}$ が目立つ。	60.3
3		数量関係の正しい立式ができていないものが多い。また、どのような数量を x や y で表しているのかを明記していないものも目立つ。	27.6
4	(1)	よくできている。	80.3
	(2)	誤答では、 288π や $\frac{392}{3}\pi$ などがみられる。	44.8
	(3)	正答率が低い。無答も多い。	2.4
5	(1)	誤答では、26が多い。	46.6
	(2)	誤答では、「アとイ」が目立つ。	66.4
6	(1)	よくできている。	85.4
	(2)	ア 誤答では、 $y = 4a$ などがみられる。	44.4
		イ 正答率が低い。問題を解くのに必要な点の座標を正しく求められないための誤答が多い。無答も多い。	6.7
7	(1)	正答率が低い。証明の過程で、論理の飛躍しているものや説明の不十分なものが多い。	9.0
	(2)	正答率が低い。誤答では、 $\frac{9}{2}\pi$ や $\frac{34}{5}\pi$ などがみられる。無答も多い。	2.1

英 語

1 出題のねらい

1 では英文を聞いて、必要な情報や話の概要をとらえる力をみる。2 では対話文を読んで、話の概要や要点をとらえる力と、自分の考えを英語で書く力をみる。3 では相手に伝えるべき事柄を英語で書く力をみる。4 では物語形式の英文を読んで、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじをとらえる力をみる。

2 解答の状況

設問番号		解 答 の 特 徴 と 誤 答 例	正答率
1	(1)	A 非常によくできている。	96.1
		B 非常によくできている。	90.8
		C 誤答では、イが多い。	61.3
		D 非常によくできている。	95.8
	(2)	1 誤答では、musiam が目立つ。	59.2
		2 誤答では、㊸を answerd としたものがみられる。	29.1
		3 話の内容を的確にとらえていないための誤答が多い。	37.5
2	(1)	㊸ 誤答では、ウが多い。	71.3
		㊹ よくできている。	79.7
		㊺ よくできている。	81.6
	(2)	A 非常によくできている。	95.8
		B よくできている。	87.9
		C よくできている。	89.7
	(3)	誤答では、オエウアイ、イアウエオなどがみられる。	52.4
	(4)	既習の語句や表現形式を用いて解答しているものが多い。	28.4
	(5)	①の誤答では、イが多い。②の誤答では、アが多い。	62.6
	(6)	会話の流れは踏まえているが、伝えたいことが的確に表現できていない不十分な解答が目立つ。	57.0
3		既習の語句や表現形式を用いて、伝えるべき内容を積極的に書こうとする姿勢がみられる。	44.9
4	(1)	㊸ 誤答では、building が目立つ。	74.2
		㊹ 誤答では、listened が多い。	63.9
	(2)	① 話の内容を的確にとらえていないための誤答が多い。	72.0
		② 話の内容を的確にとらえていないための誤答が多い。	40.4
	(3)	誤答では、アが多い。	69.7
	(4)	誤答では、イが多い。	66.3
	(5)	話の内容を的確にとらえていないための誤答が多い。	58.3
	(6)	話の内容を的確にとらえていないための誤答が多い。	37.2
	(7)	誤答では、イが多い。	55.3

社 会

1 出題のねらい

1 では日本の歴史における政治や社会の特色、2 では自然環境や産業などからみた日本の特色、3 では国際社会の動向と特色、4 では国民生活と政治・経済とのかかわりについて、それぞれ出題した。出題に当たっては、社会的事象に対する関心と理解の程度をみるとともに、多様な資料に基づいて考察し、表現する力をみるようにした。

2 解答の状況

設問番号		解 答 の 特 徴 と 誤 答 例		正答率	
1	(1)	(1) よくできている。		81.2	
	(2)	(2) よくできている。		83.6	
	(3)	(3) 誤答では、「イ→ウ→ア」が多い。		25.7	
	(4)	a	図と表から考えられる勢力範囲の変化を適切に記述していない解答が多い。	52.4	
		b	誤答では、「武家諸法度」が多い。	47.9	
	(5)	(5) 政策を行った目的を適切に記述していない解答が多い。		11.1	
	(6)	人物	誤答では、「松平定信」が目立つ。	49.7	
		記号	誤答では、ア、ウが多い。	25.9	
		b	①	誤答では、イが多い。	52.4
			②	制度の変化について適切に記述していない解答が多い。	35.6
(7)	a	誤答では、イ、ウ、オがほぼ同数みられる。	66.9		
	b	誤答では、ウが多い。	35.7		
(8)	(8) 記号の誤答では、イ、エが多い。理由の誤答では、疎開が行われたことについて適切に記述していない解答が多い。		57.0		
2	(1)	a	誤答では、「親潮」が目立つ。	73.3	
		b	よくできている。	74.9	
	(2)	a	出 荷 額	よくできている。	85.2
		輸送機械	誤答では、エが多い。	55.0	
	b	(b) 地方交付税交付金を交付する目的を適切に記述していない解答が多い。		56.1	
	(3)	(3) 記号の誤答では、B が多い。県名の誤答では、「長崎」が多い。		37.0	
	(4)	a	非常によくできている。	91.8	
b		(b) 表のように時間帯を設定している目的を適切に記述していない不十分な解答が多い。		66.0	
3	(1)	a	誤答では、アが多い。	59.5	
		b	よくできている。	88.4	
		c	誤答では、「イ、ウ」が多い。	71.7	
	(2)	(2) 記号の誤答では、B が多い。国名の誤答では、「カナダ」が目立つ。		55.7	
	(3)	茶	よくできている。	87.0	
		コーヒー	誤答では、イが多い。	55.6	
	(4)	a	輸送の利便性が向上した理由を適切に記述していない解答が多い。	47.6	
		b	(b) 図から読み取れることについて適切に記述していない解答が多い。		36.6
4	(1)	a	㊦	誤答では、「自衛隊」が多い。	36.2
			㊩	誤答では、「社会」が目立つ。	39.9
		b	(b) よくできている。		86.8
	(2)	a	誤答では、エが多い。	64.8	
		b	(b) 誤答では、ア、ウ、エがほぼ同数みられる。		53.4
	(3)	a	(a) 誤答では、ウ、エが多い。		41.0
b		(b) グラフを基に、日本の水道事業の問題点を適切に記述することができていない不十分な解答が多い。		66.3	

理 科

1 出題のねらい

1 は基礎的・基本的な事項、2 はいろいろな生物とその共通点、生物の体のつくりとはたらき及び自然と人間、3 は身の回りの物質及び化学変化と原子・分子、4 は地球と宇宙、5 は大地の成り立ちと変化、6 は身近な物理現象及び運動とエネルギーに関する問題である。出題に当たっては、観察や実験に重点を置き、自然の事象について、知識や理解の程度及び科学的に考察する力をみるようにした。

2 解答の状況

設問番号	解 答 の 特 徴 と 誤 答 例		正答率
1	(1)	よくできている。	83.6
	(2)	シベリア気団の性質を理解していないための誤答が多い。	68.0
	(3)	非常によくできている。	86.1
	(4)	2つの電熱線に加える電圧と2つの電熱線に流れる電流の関係を正しく理解していないための誤答が多い。	50.8
2	(1)	① よくできている。	84.8
		② よくできている。	79.9
		③ よくできている。	75.4
	(2)	① 非常によくできている。	91.8
		② よくできている。	74.1
		③ 袋Bの二酸化炭素の割合(濃度)が増加した理由を適切に記述していない誤答が目立つ。	50.8
	(3)	誤答では、「37.5」などがみられる。	48.4
3	(1)	① よくできている。	84.4
		② a よくできている。	82.3
		b 誤答では、「原子」などがみられる。	60.1
		③ 酸化銀を加熱するときの化学変化を理解していないための誤答が多い。	55.0
		④ a 誤答では、「39」が目立つ。	33.5
		b 誤答では、「0.3」が多い。	14.7
	(2)	酸化鉄から鉄をとり出すとき炭素を加える理由を適切に記述していない誤答が多い。	52.5
4	(1)	① 誤答では、「銀河系」が目立つ。	54.5
		② 誤答では、ア、イが目立つ。	50.8
	(2)	① 北極星だけがほとんど動かないように見える理由を正しく理解していないための誤答が多い。	64.0
		② 誤答では、イ、エが目立つ。	60.1
5	(1)	よくできている。	76.7
	(2)	① 誤答では、「20時40分22秒」などがみられる。	45.2
		② 記号の誤答では、イが多い。㉟の誤答では、Cが多い。	28.2
6	(1)	① 誤答では、ウが多い。	52.6
		② a 誤答では、イ、エが目立つ。	56.3
		b 誤答では、ウが多い。	53.7
	(2)	糸bがおもりBを引く力を正しく理解していないための誤答が多い。	45.1
	(3)	① よくできている。	78.0
		② a 誤答では、「0.2」が目立つ。	4.2
		b 物体Dにはたらく浮力が真上の向きである理由を正しく理解していないための誤答が多い。	41.8

作 文

1 作文題名の選択状況

作 文 の 題 名	選 択 し た 学 校 数	選 択 者 数	受 検 者 数 に 対 す る 選 択 者 数 の 割 合
一 中学校生活で学んだこと	4 校	32 人	13.7 %
二 高校生活で得たいもの	11 校	125 人	53.7 %
三 私の長所	7 校	30 人	12.9 %
四 心に残る言葉	5 校	35 人	15.0 %
五 マナーについて	2 校	7 人	3.0 %
その他（注）		4 人	1.7 %
計	実 施 し た 学 校 数 13 校	受 検 者 数 233 人	100 %

（注）指定外の題名で書いた者 3 人。2 つの題名を選んだ者 1 人。

2 概 評

(1) 内 容

- ・「中学校生活で学んだこと」では、学校生活を題材として仲間の大切さについて述べたものがみられた。
- ・「高校生活で得たいもの」では、学力や人間関係につながることをあげたものがみられた。将来の進路と結びつけたものもみられた。
- ・「私の長所」では、自分のよさを積極的に認めようとする姿勢がみられた。
- ・「心に残る言葉」では、自分が苦しいときに周囲から受けた励ましの言葉を取りあげたものがみられた。その言葉を励みにして高校生活を送りたいと述べたものもみられた。
- ・「マナーについて」では、マナーの大切さなど一般論にとどまるものがみられた。

(2) 表現・表記

- ・ひらがなの多用や誤字、脱字の多いものがみられる。
- ・原稿用紙の使い方、句読点の打ち方など、文章を書く上で基本となる事項を習得していないものが目立つ。
- ・書き言葉と話し言葉との区別、主述の呼応などに不適切なものがみられる。
- ・文章の構成や段落分けの意識がなく、思いつくままに文を書き連ねているものがみられる。